

# 第75回放射線科学研究会

## 「保物セミナー2021」の一環として開催

今回の放射線科学研究会は、「保物セミナー2021」の一環として共催致します。ご参加は下記プログラムテーマ2 ONSA 担当の「放射線に係る教育および知識普及活動の最前線」だけに参加頂いても結構ですが、全体へのご参加をお勧めいたします。「保物セミナー2021」の案内は同名で検索いただくか下記をご覧ください。

<http://anshin-kagaku.news.coocan.jp/hobutsu2021program.pdf> QRコード：右記



### 「保物セミナー2021」プログラム

テーマ1 「脱炭素社会における原子力」

担当 NPO 法人 安全安心科学アカデミー 9:05~10:50

テーマ2 ONSA 第75回放射線科学研究会（詳細下記）

テーマ3 「放射線被ばく事故と安全文化について考える」

担当 (一財) 電子科学研究所 14:00~16:00

テーマ4 電磁界に関連する最近の話題

担当 (一財) 大阪科学技術センター電磁界 (EMF) に関する調査研究委員会  
16:00~17:55

### テーマ2 「放射線に係る教育および知識普及活動の最前線」

担当 ONSA 12月16日 11:00~14:00 (昼休み含む)

概要：現在放射線利用は、私たちの日常の様々な分野に関係があり、日本の科学技術を支える基盤として、その経済規模は年間約4兆4千億円に及ぶとされている。一方で放射線の健康影響は、社会の大きな関心を集めている。このような状況から、放射線については正しい知識を持つ事が技術者や一般の人々にも、益々重要になっている。テーマ2では放射線に係る教育や知識普及の最前線の活動例を紹介する。

1. 放射線管理者に対する「よき人間性」教育 (30分) NPO 法人 安全安心科学アカデミー 理事長 辻本 忠  
放射線管理者は管理区域内で働く作業員及び管理区域周辺住民に対する放射線管理の役目を担っている。管理区域内で働く作業員は不特定多数で、常に入れ変わる。放射線についての知識は持ち合わせていない。管理区域周辺の住民は一般の生活者で、放射線に関する知識は持ち合わせていない。放射線管理者はこれらの人達に対して放射線に対する管理を行わなければならない。それにはお互い心が通じ合う信頼関係が必用になる。それには人を思いやる、こころ豊かな「よき人間性」教育が必要である。上記理由により、認定 NPO 法人安全安心科学アカデミーは放射線管理者に対して「よき人間性」教育を行なっている。本講演はその概要である。

2. 大阪府立大学放射線研究センターにおける放射線教育 (40分)

大阪府立大学研究推進機構・放射線研究センター長 古田雅一

放射線研究センターは、大規模な放射線施設とクリーンルームなど、国内の他の大学には見られない特徴ある設備を有している。これらの施設は、学内外の共同利用の場として広く利用されており、これらの共同利用の成果は共同利用成果報告書として毎年刊行されている。

現在のセンター教員11名は、物理、化学、生物、工学など広い分野で、施設を利用した特徴ある研究を継続しており、同時に本学大学院工学研究科の量子放射線系専攻において大学院教育も担当し、毎年修士、博士の大学院生の教育を行い、修了生を送り出している。さらに文部科学省の原子力人材育成イニシアティブ事業に参画し、消防防災関係、

民間企業など産学官の様々なレベルの技術者に対して当センターの施設を利用した実践的な放射線教育と実習を行い、高い評価を得ている。また高校生などの学生に対する施設見学や一般市民に対する基礎的な放射線教育も学園祭など学内の種々のイベントや近畿圏の放射線関係団体と共同して、「みんなのくらしと放射線展」の活動も毎年継続して開催しており、今年度も「第 38 回みんなのくらしと放射線展」を WEB 開催中である（みんなのくらしと放射線展 (housyasen-fukyu.com)）。

3. 近年における放射線教育の NPO 活動— 中学校教員の支援を中心に — (40 分)

NPO 法人 放射線教育フォーラム 事務局長 田中隆一

放射線教育フォーラムは放射線・原子力の専門家、学校教育関係者の有志によって構成されるボランティア組織（2000 年に NPO 認証）であり、当該分野に対する一般市民の公的資質涵養を目的に、学校教育を主対象として 20 数年間活動してきた。

義務教育における放射線学習指導復活の政策提言がフォーラム設立 13 年後に実を挙げたが、成果として期待された中学校の放射線授業再始動の直前に 3.11 事故が発生した。2 年遅れて、授業実践をためらう学校現場に向けて熱意ある教員との意見交換の場を計 8 回設けた。授業支援活動などに加えて、放射線知識普及の立場から、一専門家から見た放射線に関わる教科書記述の懸念材料にも言及したい。

テーマ-2 担当：一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会 (ONSA)  
 日 時：2021 年 12 月 16 日 (木) 9:00~18:00 (保物セミナー2021 全参加時)  
 会 場：Zoom のみ  
 参 加 費：ONSA 会員、放射線科学研究会会員、下記保物セミナー2021 共催団体会員 1,000 円  
 上記以外の一般 3,000 円  
 共催団体：(一財)大阪科学技術センター、(一財)電子科学研究所、(特非)安全安心科学アカデミー  
 申込締切日：12 月 12 日 (日)  
 申込手続き：「保物セミナー2021」へは ONSA から参加登録を行います。(直接でも可)  
 参加費の支払：参加申込前に銀行振り込み願います。  
 りそな銀行 船場支店 普通預金 No.3635459 一社) 大阪ニュークリアサイエンス協会

(宛 先) 〒542-0081 大阪市中央区南船場 3-3-27  
 一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会 (ONSA)  
 TEL:06-6282-3350, FAX:06-6282-3351, E-mail:onsa-ofc@nifty.com

1. FAX からの申込み (06-6282-3351)

**研究会参加申込票 (Zoom 参加 120 名)**

申込者氏名	勤務先/参加資格	所属部署	〒住所	Tel	E-mail

2. HP 参加申込フォームからの申込み

ONSA HP 申込フォームからお申込み下さい。

URL: <https://ws.formzu.net/fgen/S33567424/>

QR コード：右記

